

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社うかい  
 コード番号 7621 URL <http://www.ukai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大工原 正伸  
 (氏名) 潮 一生

TEL 042-666-3333

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,049	4.8	146	41.4	130	59.3	55	56.0
25年3月期第1四半期	2,909	1.6	103	△60.0	81	△64.9	35	△72.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	11.23	11.19
25年3月期第1四半期	7.22	7.19

(注) 1株当たり四半期純利益金額を算定するための普通株式の期中平均株式数について、「従業員持株ESOP信託」が所有する当社株式の数を控除しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	11,688	4,039	34.3
25年3月期	11,874	4,033	33.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,005百万円 25年3月期 3,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,791	0.5	102	△43.4	74	△42.1	18	△65.9	3.65
通期	11,809	1.0	401	5.6	342	60.8	276	61.2	55.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	5,229,940 株	25年3月期	5,229,940 株
26年3月期1Q	288,216 株	25年3月期	293,156 株
26年3月期1Q	4,938,772 株	25年3月期1Q	4,923,584 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新政権による金融政策や経済政策の効果により、株価の上昇や円安による輸出環境の改善など、景気回復の兆しが見えてきておりますが、実体経済への反映には至っておらず、欧州財政問題や海外経済の下振れ懸念は依然として存在しており、先行きは不透明な状況となっております。

外食産業におきましても、消費マインドが改善し、一部で消費の回復が見られるものの、物価上昇・消費税の増税・電力などのエネルギーコストの上昇などの不安材料により、生活防衛意識や節約志向が依然として強く、不透明な状況で推移しております。

このような経営環境の中、未来への成長を見据え、3つの成長方針、『人に優しい店づくり～既存店の強化～』『うかいの余韻をご家庭に～新商品開発～』『商圈1万キロ～新市場開拓～』を掲げ、まずは当期を「計画の年」として、各施策に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間の業績は売上高3,049百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。利益面では、営業利益146百万円（同41.4%増）、経常利益130百万円（同59.3%増）、四半期純利益55百万円（同56.0%増）となりました。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

〔飲食事業〕

飲食事業では戻りつつあるお客様に対し、いつ来られても満足でき、また新たな発見ができるよう、歴史のあるうかい鳥山の蛸狩りやあざみ野うかい亭の薔薇の回廊、ワインなど飲料にまつわるフェア、季節の食材を使った特別料理などを展開し、来店機会の増加を図ってまいりました。

和食事業は、昨年3月に首都圏中央連絡自動車道の高尾山インターチェンジが開通したことにより、うかい鳥山・うかい竹亭の商圈が広がり、集客が図れたことが大きく寄与し、売上高1,467百万円（同3.2%増）となりました。

洋食事業は、都心店の銀座うかい亭、表参道うかい亭、グリルうかい丸の内店が好調である上、郊外店も客数が伸びたことにより、1,306百万円（同9.6%増）となりました。

この結果、飲食事業としては、売上高2,773百万円（同6.1%増）となりました。

〔文化事業〕

文化事業では、2013年特別企画展「モザイク美の世界」をこの4月より開催し、多くのお客様にご来館いただけるようプロモーションと販促の強化を行ってまいりましたが、来館者数の減少により、売上高276百万円（同6.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ186百万円減少し、11,688百万円となりました。主な要因は現金及び預金の減少45百万円、売掛金の減少44百万円、商品の増加27百万円、有形固定資産の減少85百万円、繰延税金資産の減少56百万円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ192百万円減少し、7,648百万円となりました。主な要因は、有利子負債の減少169百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ6百万円増加し、4,039百万円となりました。主な要因は四半期純利益55百万円、剰余金の配当による減少59百万円、自己株式処分による増加9百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の通期及び第2四半期(累計)業績につきましては、平成25年5月17日に公表いたしました数字から変更はありません。

詳細につきましては、「平成25年3月期 決算短信[日本基準](非連結)」及び平成25年6月14日に公表いたしました「平成25年3月期 決算短信[日本基準](非連結)」の一部訂正について」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	559,850	514,320
売掛金	401,594	356,657
商品及び製品	145,139	172,180
原材料及び貯蔵品	244,071	247,735
繰延税金資産	81,527	84,806
その他	142,892	159,848
貸倒引当金	△362	△321
流動資産合計	1,574,713	1,535,226
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,114,394	9,121,740
減価償却累計額	△4,785,320	△4,857,146
建物(純額)	4,329,074	4,264,594
土地	2,400,400	2,400,400
建設仮勘定	10,367	8,946
美術骨董品	1,078,721	1,084,174
その他	3,324,740	3,341,746
減価償却累計額	△2,523,138	△2,565,585
その他(純額)	801,601	776,161
有形固定資産合計	8,620,165	8,534,277
無形固定資産	109,554	103,524
投資その他の資産		
投資有価証券	32,707	35,531
繰延税金資産	366,645	307,080
敷金及び保証金	986,766	988,888
その他	184,097	183,904
投資その他の資産合計	1,570,216	1,515,403
固定資産合計	10,299,936	10,153,205
資産合計	11,874,650	11,688,431

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	272,326	267,936
1年内返済予定の長期借入金	686,000	686,000
未払法人税等	56,587	26,021
賞与引当金	95,003	22,415
その他	800,365	897,736
流動負債合計	1,910,283	1,900,109
固定負債		
長期借入金	4,676,000	4,513,500
退職給付引当金	724,477	711,709
資産除去債務	116,786	117,441
その他	413,712	405,809
固定負債合計	5,930,977	5,748,460
負債合計	7,841,260	7,648,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,291,007	1,291,007
資本剰余金	1,836,412	1,836,412
利益剰余金	1,400,523	1,395,937
自己株式	△538,875	△529,789
株主資本合計	3,989,067	3,993,567
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,631	11,603
評価・換算差額等合計	9,631	11,603
新株予約権	34,691	34,691
純資産合計	4,033,389	4,039,861
負債純資産合計	11,874,650	11,688,431

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,909,467	3,049,614
売上原価	1,347,804	1,391,084
売上総利益	1,561,662	1,658,530
販売費及び一般管理費		
販売促進費	85,772	88,454
役員報酬	49,095	48,585
給料及び手当	506,128	528,066
賞与引当金繰入額	12,294	13,220
退職給付費用	13,973	20,117
福利厚生費	79,568	86,423
水道光熱費	43,401	51,072
消耗品費	46,229	46,467
修繕費	50,397	51,701
衛生費	51,509	53,223
租税公課	27,189	27,389
賃借料	171,534	173,347
減価償却費	94,572	92,899
その他	226,082	230,647
販売費及び一般管理費合計	1,457,749	1,511,617
営業利益	103,913	146,912
営業外収益		
受取利息	1,274	1,273
受取配当金	309	352
その他	5,836	1,360
営業外収益合計	7,420	2,986
営業外費用		
支払利息	25,556	15,645
社債利息	2,012	—
その他	1,788	3,690
営業外費用合計	29,357	19,335
経常利益	81,976	130,563
特別利益		
固定資産売却益	—	19
特別利益合計	—	19
特別損失		
固定資産除却損	5,296	1,222
特別損失合計	5,296	1,222
税引前四半期純利益	76,679	129,361
法人税、住民税及び事業税	14,821	18,469
法人税等調整額	26,319	55,434
法人税等合計	41,140	73,903
四半期純利益	35,539	55,457



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,613,688	295,778	2,909,467	—	2,909,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,613,688	295,778	2,909,467	—	2,909,467
セグメント利益	322,334	5,717	328,051	△224,138	103,913

(注)1. セグメント利益の調整額△224,138千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,773,592	276,022	3,049,614	—	3,049,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,773,592	276,022	3,049,614	—	3,049,614
セグメント利益又は損失(△)	390,046	△16,497	373,549	△226,636	146,912

(注)1. セグメント利益の調整額△226,636千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。